1 表現力アップ！読み聞かせ・話し方講座

～プロから学ぶ「表現の楽しさ」「言葉の大切さ」「日本語の美しさ」～

子ども達への読み聞かせ、会議や会合でのプレゼンテーション、人とのコミュニケーションなどあらゆる場面で求められる「表現力」。自分の考えや思いを言葉にのせて伝える「表現力」を身につけましょう。

※定員を超える申し込みがあった場合は、初めて受講される方を優先します。

1	5月20日（火曜日）	「声を出す」ということ 普段なにげなく使っている「声」をもっと知りましょう。	6	7月 1日（火曜日）	「言葉の意味」ということ ひとつひとつの言葉の意味を考えましょう。
2	6月 3日（火曜日）	「伝える」ということ 「伝わらない」のではなく「伝えていない」ということはありませんか？	7	7月~~8~~15日（火曜日）	「しっかり伝える」ということ 「伝える」ことの真の難しさを考えましょう。
3	6月10日（火曜日）	「読む」ということ 文字を「読む」のではなく、文を「読む」のです。	8	7月~~15~~22日（火曜日）	「語る」ということ 自分の考え・思いを伝えるには･･･
4	6月17日（火曜日）	「表現する」ということ① 表現する方法論を知りましょう。	9	7月~~22~~29日（火曜日）	「響く」ということ 聞く人の耳に届き、心に響く表現を目指しましょう。
5	6月24日（火曜日）	「表現する」ということ② オーバーに言い表すことが「表現」ではありません。			

担当講師：フリーアナウンサー・新朗読家
杉山　直　氏

2 市民歴史講座 「華ひらく出版文化　～江戸のメディアの夢噺（ゆめばなし）～」

本講座では、『華ひらく出版文化　～江戸のメディアの夢噺～』をテーマとし、前半は、広く出版の歴史と江戸時代の浮世絵等の出版ブーム、江戸のメディア王・蔦屋重三郎の生涯について学んでいきます。また後半は、浮世絵版画の魅力や彫師、摺師の技や秘密、さらには駿河国を描いた浮世絵の世界について学んでいきます。

なお、富士山かぐや姫ミュージアムでは、本講座に関連した企画として、春のテーマ展「浮世絵版画の世界」（2/1～4/13）、及び、夏のテーマ展「江戸時代の出版事情」（4/26～8/17）の展示を実施します。

1	6月 4日（水曜日）	東アジアにおける日本の出版文化　― 17世紀まで ―	国文学研究資料館 教授　入口　敦志　氏
2	6月11日（水曜日）	江戸時代と出版文化　― マスコミ文化のルーツ ―	早稲田大学　演劇博物館 招聘（しょうへい）研究員　深谷　大　氏
3	6月18日（水曜日）	出版プロデューサー・蔦屋重三郎 ― 十返舎一九との交流を中心に　―	
4	6月25日（水曜日）	浮世絵版画の世界①　― 繊細な多色摺の技術 ―	神奈川大学　国際日本学部 准教授　藤澤　茜　氏
5	7月 2日（水曜日）	浮世絵版画の世界②　― 浮世絵に描かれた駿河の景 ―	静岡市東海道広重美術館 学芸員　山口　拓海　氏